



国際医療リスクマネジメント学会

医療安全臨床コミュニケーター実習研修会2017 (クライシス・コミュニケーション編)

—医療事故時の危機対応能力の向上—

主催者の挨拶

医療事故発生時における院内の対応は、危機(クライシス)に対するアセスメント、マネジメント、コミュニケーションならびにガバナンス(組織対応)の4大要素から構成される。これらにおける不適切な対応が患者・家族のみならず当該医療機関での医療従事者に対しても強い悲しみ・怒りを引き起こす。

本プログラムの目的は、医療事故時の円滑な危機対応のためのクライシス・コミュニケーションの知識・技術を向上し、医療事故時の際の院内の優れた組織を形成することにある。

本実習研修によって、あなたの医療機関により高度な安全文化を構築し、患者・家族からの納得と信頼が得られるようになります。

なお、医療安全文化の向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全管理者が不可欠です。そこで、日本医療安全学会の協力の下、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度が開始されます。本プログラムはこの認定資格取得における必須科目でもあります。

2017年6月

酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長)

主催者一同